

## 夜行列車

夜空を列車が走り出す  
深夜のホームには汽笛だけが鳴り響いていた  
なぜか心が踊り出す  
しな垂れ合うカップルの間をすり抜けて  
酔っ払いのうわごとを搔っ攫って  
吹き抜ける風に乗ったこの焼けた匂いだけが  
夜空を走る確たる証拠だ  
そのまま影さえも置いていくスピードで  
暗闇を駆け昇って行く  
この特別列車に不似合いな  
壊れた靴なんて放り捨てよう  
代わりにあの大きな月を叩いて  
丈夫なブーツを作ろう  
きつと噂の赤い靴より、厄介だろうけれど  
すべてを蹴散らす力をくれる  
もう二度とあの道なんて歩く事がないように  
さあ今すぐに！行ってしまおう前に…！  
切符の買い方は知らないけれど。

藍